

2021年度 第2四半期決算報告

地球に提案だ。



挑戦の先に答えはある。

ZEON

2021年10月29日
日本ゼオン株式会社

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.8	エラストマー素材 概況
P.9	エラストマー素材 P/L
P.10	エラストマー素材 営業利益差異
P.13	高機能材料 P/L
P.14	高機能材料 営業利益差異
P.16	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.17	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.22	2021年度通期 業績予想

【総括】

- ◆ エラストマー素材、高機能材料とも総じて堅調に推移し、Q2連結業績は前年同期に対し増収増益、対前期では増収減益
- ◆ 新型コロナウイルスによる調達および生産への影響はない

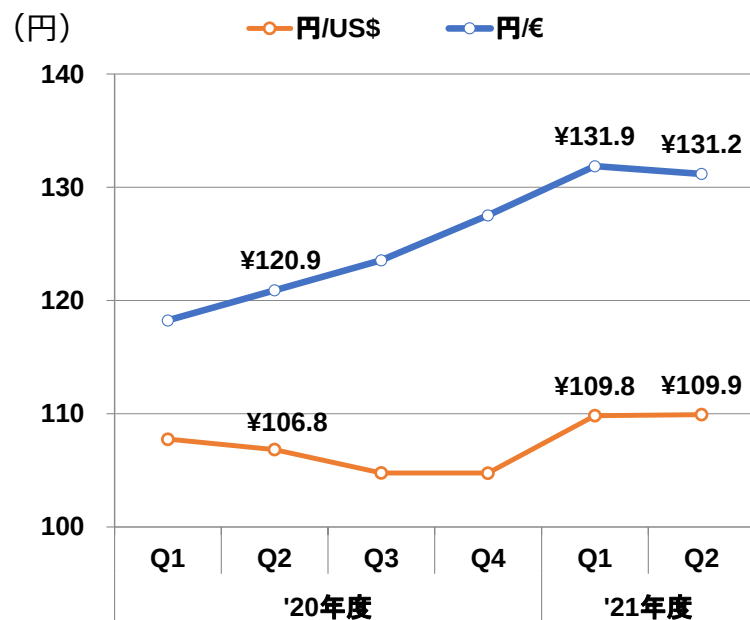
【エラストマー素材の概況】

- ◆ 主原料価格上昇に伴って販売単価も上昇し、売上高は増加するも営業利益は減少
- ◆ Q1に引き続き、コンテナ不足の影響で欧米向け中心に出荷に遅れ

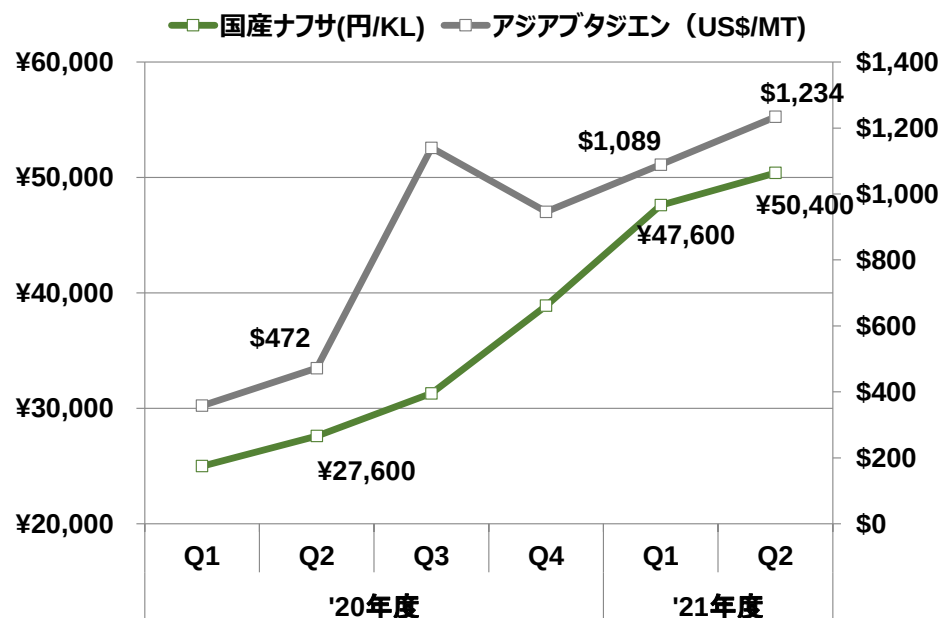
【高機能材料の概況】

- ◆ 出荷量増で売上高は増加するも、光学フィルムの試作関連費用等の発生により営業利益は減少
- ◆ 電池材料は半導体不足、中国の電力制限等の影響で一服感

【為替推移】



【主原料推移】



		2020年度 Q2	2021年度 Q1	2021年度 Q2	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥106.8	¥109.8	¥109.9	+3%	---
	円/€	¥120.9	¥131.9	¥131.2	+9%	△1%
主原料	国産ナフサ/KL	¥27,600	¥47,600	¥50,400	+83%	+6%
	アジアブタジエン/MT	\$472	\$1,089	\$1,234	+161%	+13%

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.8	エラストマー素材 概況
P.9	エラストマー素材 P/L
P.10	エラストマー素材 営業利益差異
P.13	高機能材料 P/L
P.14	高機能材料 営業利益差異
P.16	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.17	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.22	2021年度通期 業績予想

（単位：億円）

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2020年度 上期	2021年度 上期	対前年 同期比
	2020年度 Q2	2021年度 Q1	2021年度 Q2	YoY 増減	QoQ 増減			
売上高	679	872	919	+240	+47	1,374	1,791	+417
営業利益	56	139	111	+55	△28	99	250	+150
経常利益	59	148	117	+59	△31	109	266	+156
当期純利益	46	101	83	+37	△17	82	184	+102

■ 前年同期比 ： 売上高 +240億円、営業利益 +55億円

■ 前期比 ： 売上高 +47億円、営業利益△28億円

注記：海外関係会社の2021年4～6月実績がQ2連結決算に反映されています。

（単位：億円）

【売上高】

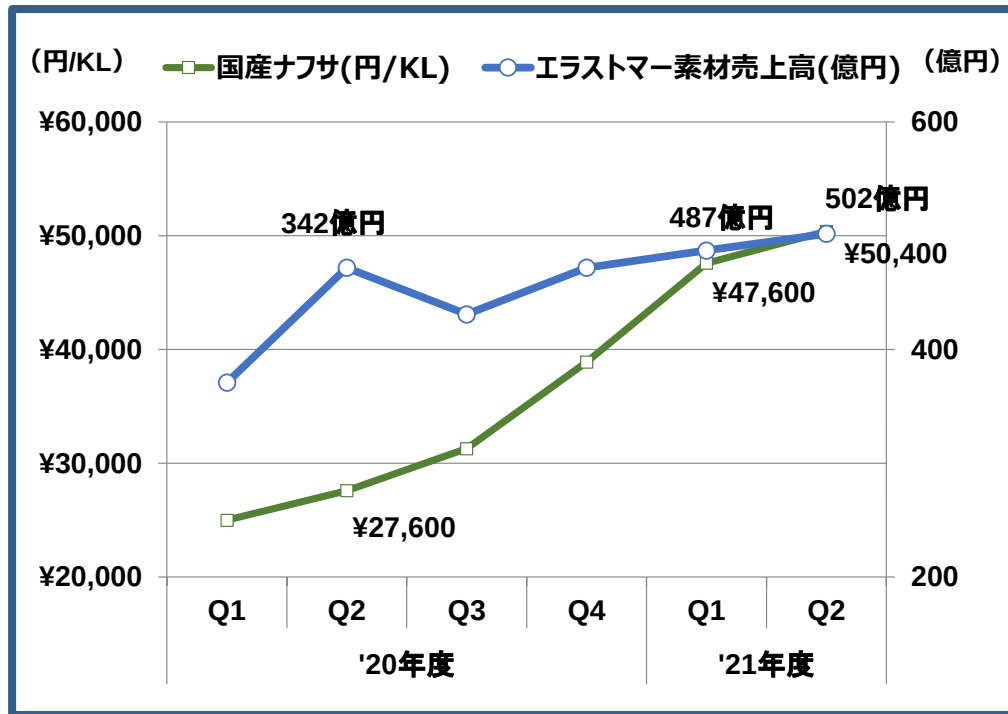
	2020年度 上期	2021年度 上期	YoY 増減	2021年度 上期予想	予想との差	増減率
エラストマー素材	713	989	+276	1,010	△21	△2 %
高機能材料	465	541	+76	505	+36	+7 %
その他の事業、消去等	196	261	+65	265	△4	△2 %
売上高合計	1,374	1,791	+417	1,780	+11	+1 %

【営業利益】

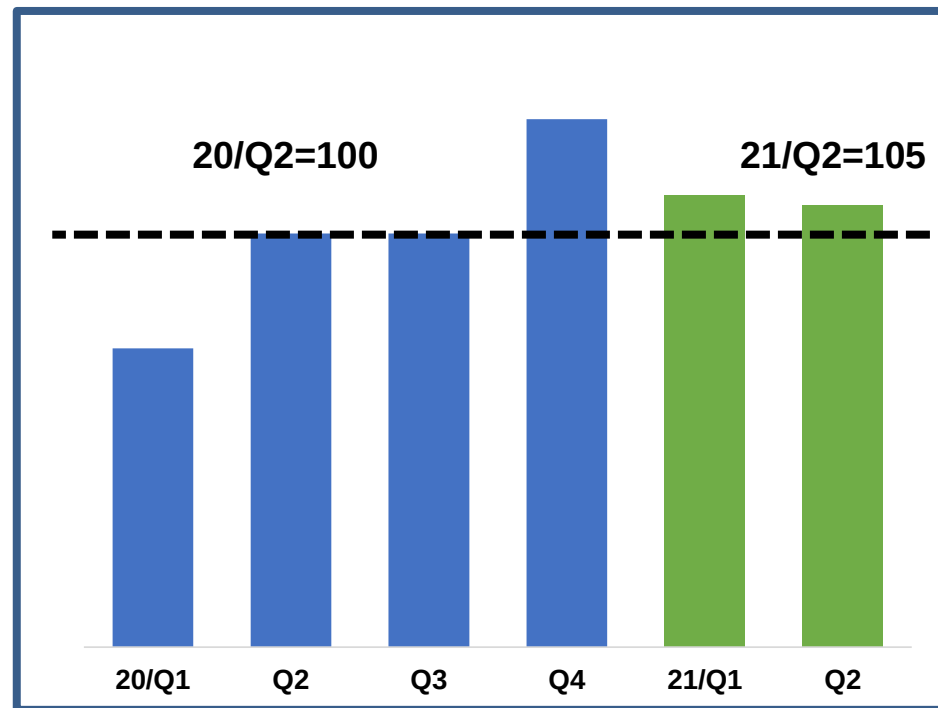
	2020年度 上期	2021年度 上期	YoY 増減	2021年度 上期予想	予想との差	増減率
エラストマー素材	8	108	+100	110	△2	△1 %
高機能材料	97	140	+43	140	+0	--- %
その他の事業、消去等	△ 7	1	+8	---	+1	--- %
営業利益合計	99	250	+150	250	---	--- %

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.8	エラストマー素材 概況
P.9	エラストマー素材 P/L
P.10	エラストマー素材 営業利益差異
P.13	高機能材料 P/L
P.14	高機能材料 営業利益差異
P.16	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.17	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.22	2021年度通期 業績予想

【国産ナフサ価格とエラストマー素材売上高推移】



【合成ゴム出荷量推移】

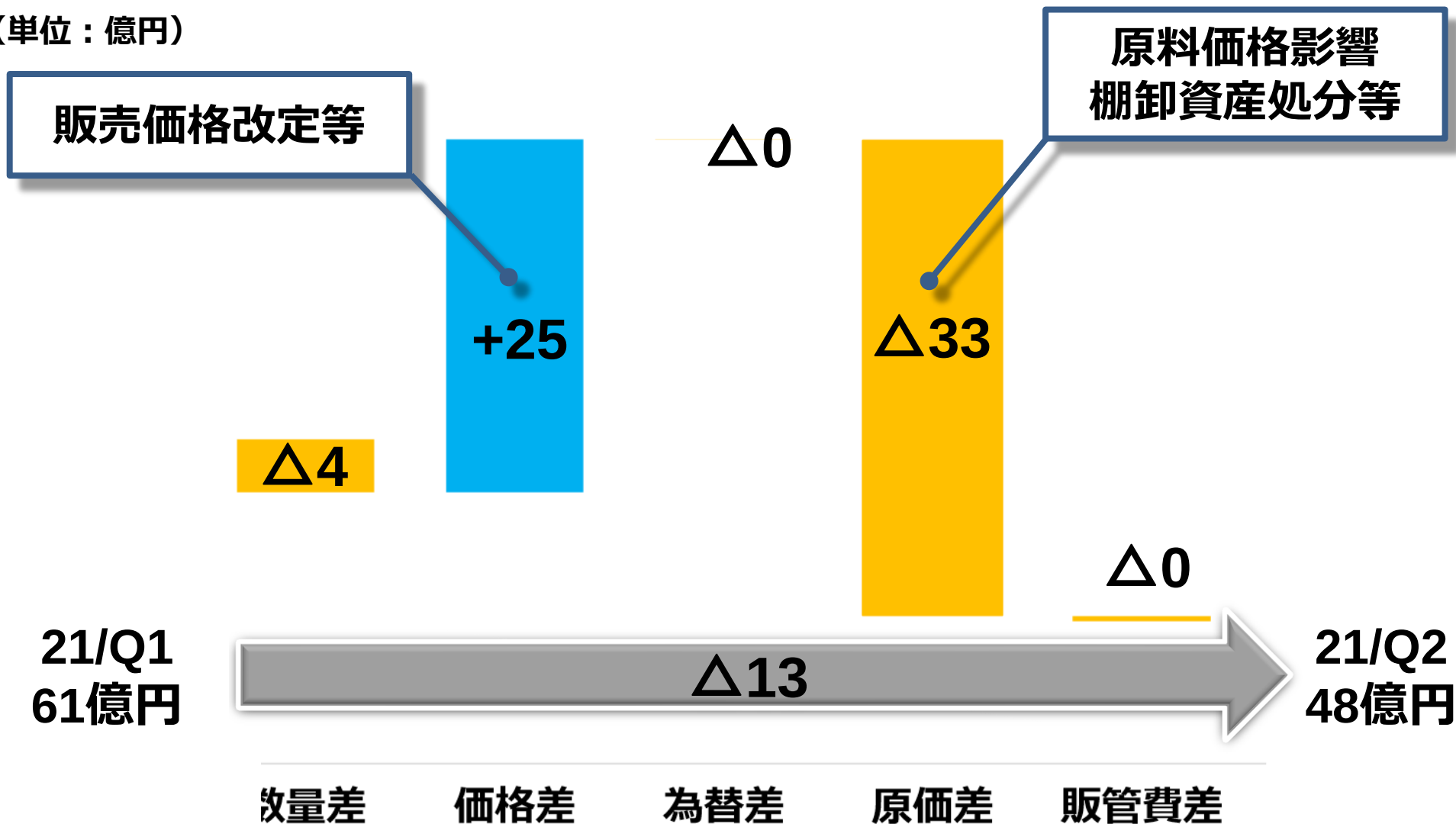


- 国産ナフサ価格上昇に伴い、エラストマー素材の売上高は増加
- 合成ゴムの需要は堅調だが、コンテナ不足等の影響で出荷量は前期並み

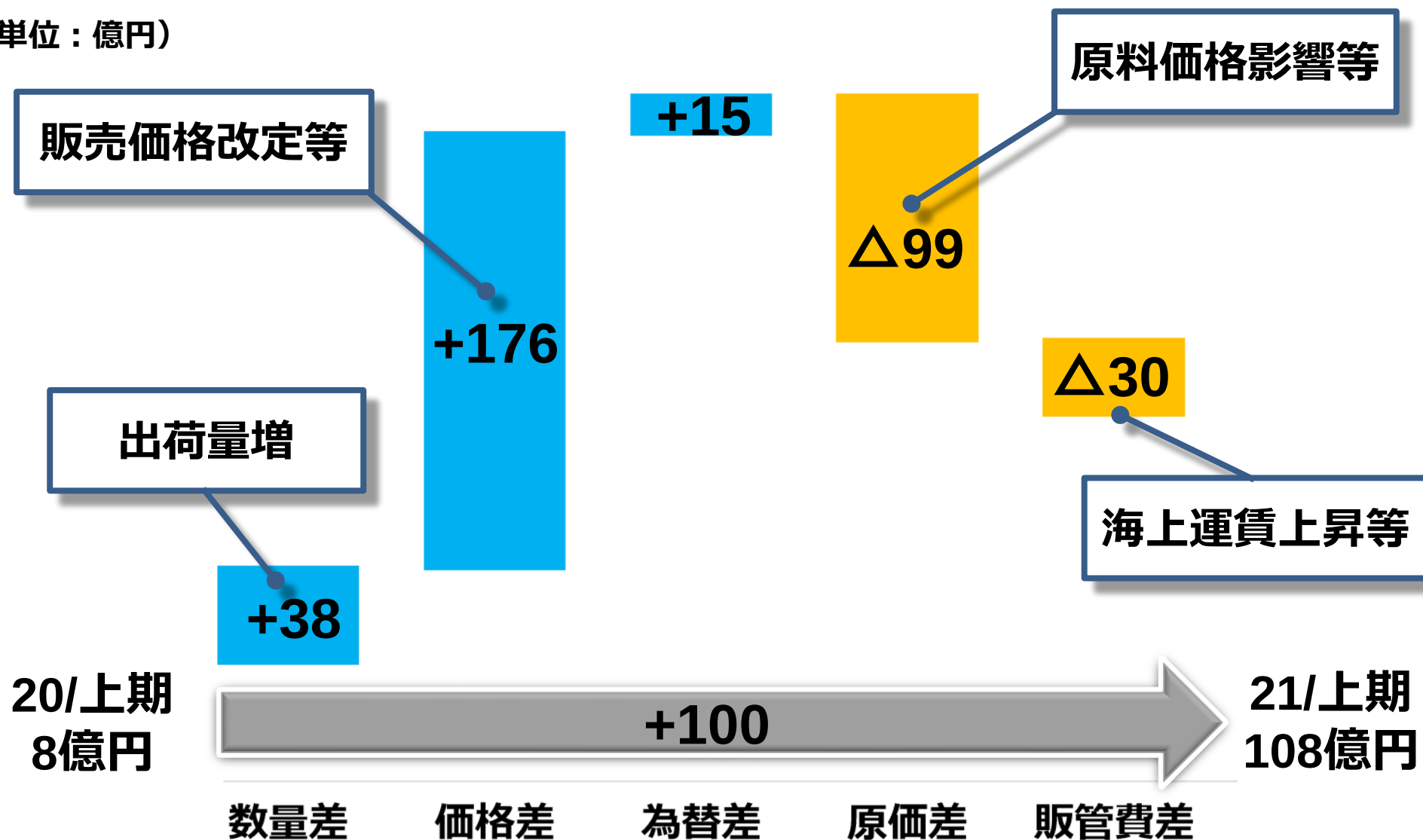
(単位：億円)	2020年度 Q2	2021年度 Q1	2021年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (20/Q2=100)	100	105	98	△ 2 pt	△ 2 %	△ 7 pt	△ 7 %
合成ゴム	100	107	104	4 pt	4 %	△ 2 pt	△ 2 %
ラテックス	100	110	100	△ 0 pt	△ 0 %	△ 10 pt	△ 9 %
化成品	100	98	81	△ 19 pt	△ 19 %	△ 17 pt	△ 17 %
売上高	342	487	502	160	47 %	15	3 %
合成ゴム	218	308	325	107	49 %	17	6 %
ラテックス	32	76	68	36	113 %	△ 8	△ 11 %
化成品	79	95	101	22	28 %	6	7 %
その他・消去	13	8	8	△ 5	△ 36 %	△ 1	△ 6 %
営業利益	9	61	48	38	404 %	△ 13	△ 21 %
営業利益率	3%	12%	10%				

- 出荷量 : 化成品は定期検査の影響による供給量減、
欧米向けコンテナ不足で減少
- 売上高 : 主原料価格連動フォーミュラおよび価格改定で増加
- 営業利益 : 主原料価格上昇等の影響で減少

(単位：億円)



(単位：億円)



P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.8	エラストマー素材 概況
P.9	エラストマー素材 P/L
P.10	エラストマー素材 営業利益差異
P.13	高機能材料 P/L
P.14	高機能材料 営業利益差異
P.16	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.17	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.22	2021年度通期 業績予想

(単位：億円)	2020年度 Q2	2021年度 Q1	2021年度 Q2	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	242	252	289	47	20 %	38	15 %
※ 高機能樹脂	163	156	180	17	11 %	24	15 %
高機能ケミカル	67	83	97	30	45 %	14	17 %
メディカル他	12	13	13	1	7 %	△ 0	△ 0 %
営業利益	49	78	63	13	27 %	△ 15	△ 19 %
営業利益率	20%	31%	22%				

※ 高機能樹脂 : 光学樹脂、光学フィルム
高機能ケミカル : 電池材料、化学品、電子材料、トナー

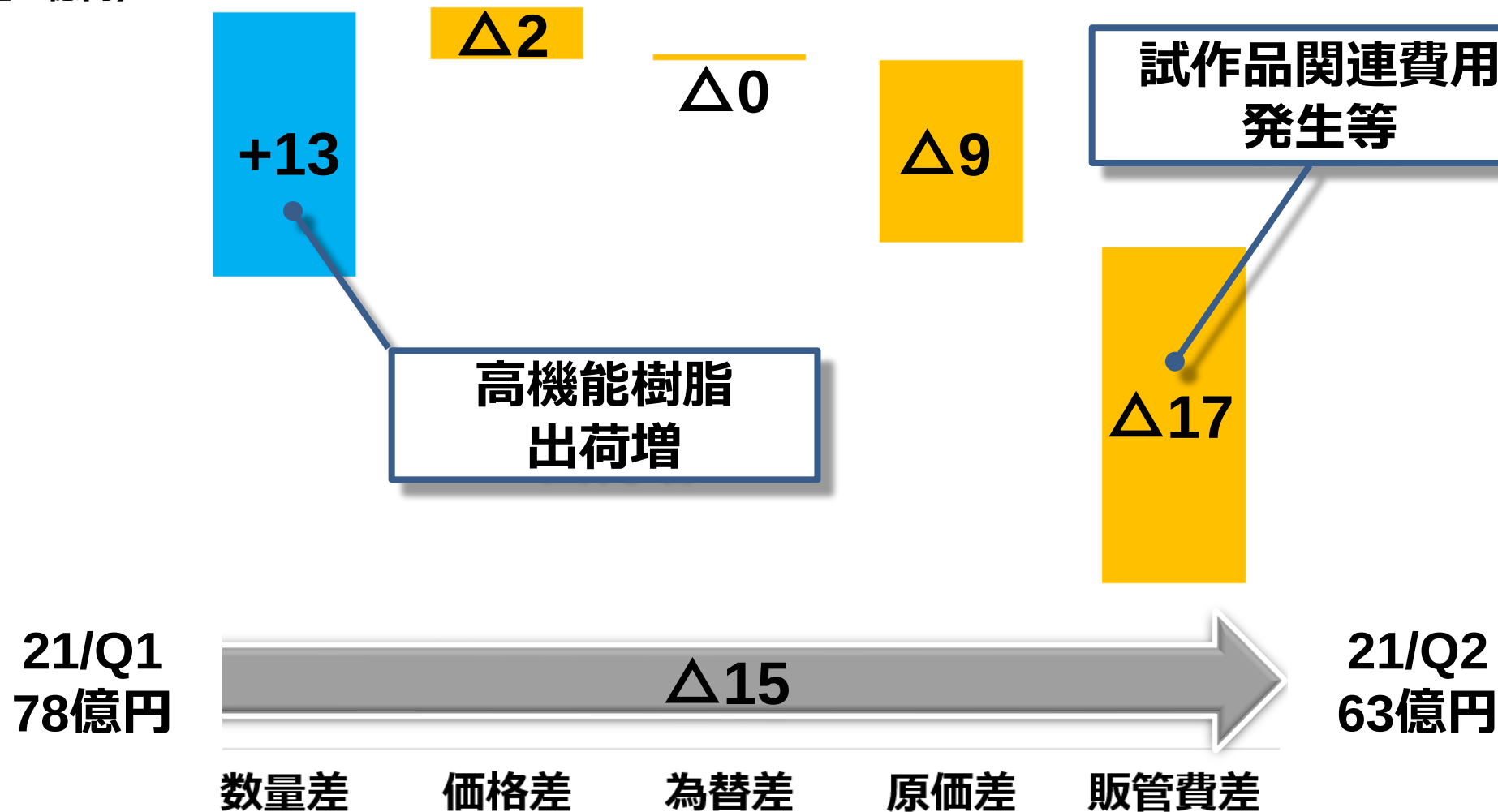
■ 売上高

高機能樹脂、高機能ケミカル事業ともに堅調
高機能材料全体で、対前期比38億円（15%）増加

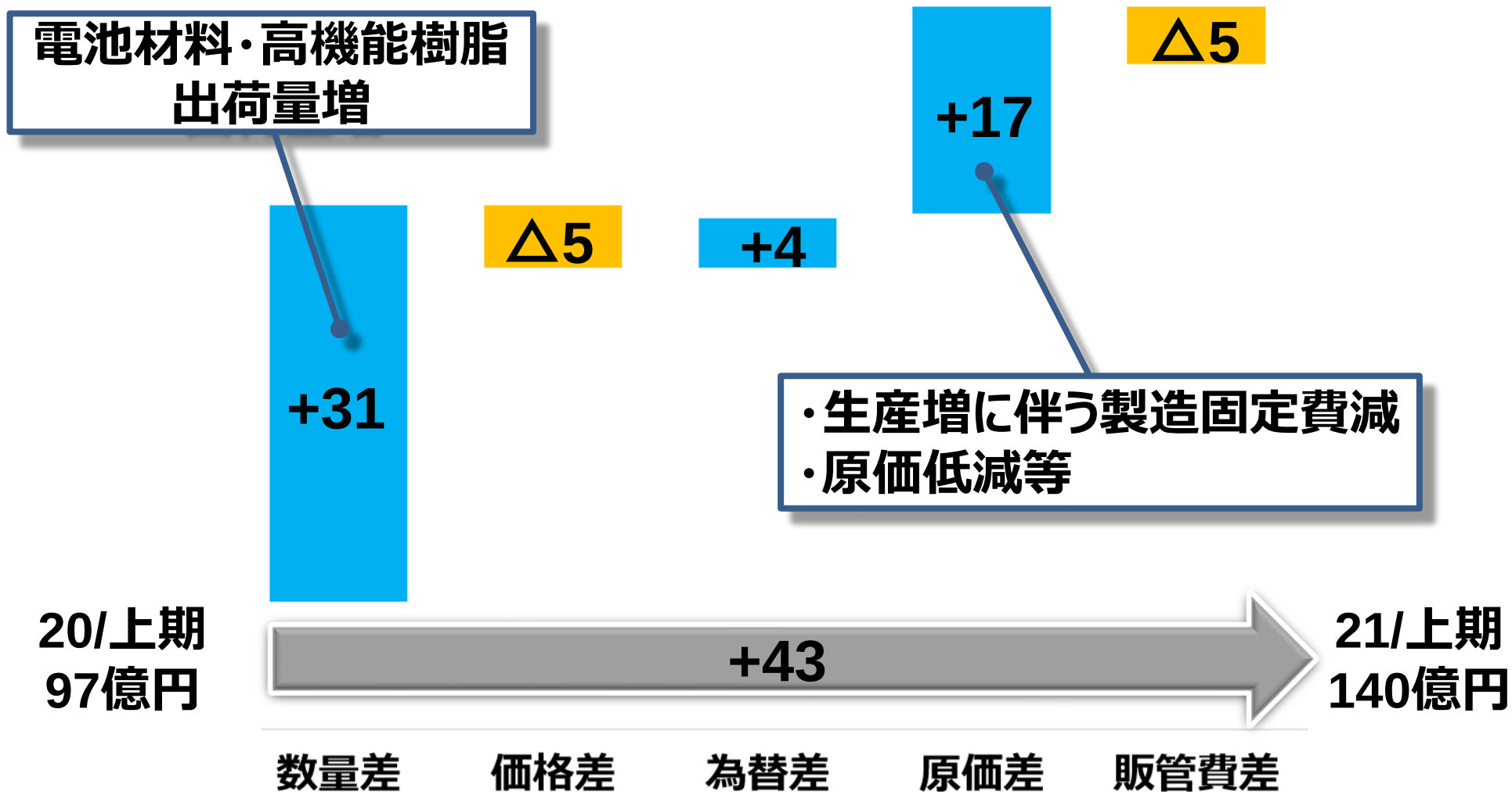
■ 営業利益

光学フィルムの試作関連費用等の発生により、前期比で
15億円減少

(単位：億円)



(単位：億円)



	YoY	QoQ
EV向け	182%	86%
民生他向け	101%	100%
全体	147%	90%

■ EV向け

半導体等の材料不足の影響で一時的に減少するも、Q3は復調見込

■ 民生他向け

家電・モバイル端末向けは前期並み、産業用途（ESS）は堅調

	YoY	QoQ
光学用途向け	126%	107%
医療、その他向け	111%	82%
全体	117%	91%

■ 光学用途向け

セキュリティカメラ、モバイル向けが堅調

■ 医療、その他向け

出荷の端境期で前期に比べ減少するも、需要は堅調

	YoY	QoQ
中小型向け	101%	111%
大型向け	105%	100%
全体	104%	102%

■ 中小型向け

スマートフォン・タブレット向けとともに堅調、半導体不足の影響は軽微

■ 大型向け

中国市場向けが堅調に推移

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.8	エラストマー素材 概況
P.9	エラストマー素材 P/L
P.10	エラストマー素材 営業利益差異
P.13	高機能材料 P/L
P.14	高機能材料 営業利益差異
P.16	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.17	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.20	B/S概要
P.21	C/F概要
P.22	2021年度通期 業績予想

総資産4,897億円（+409）

【流動資産】 +349億円

◆現預金 +102億円

◆売掛債権 +50億円

◆棚卸資産 +110億円

流動資産

2,681

(+349)

固定資産

2,216

(+60)

【固定資産】 +60億円

◆有形固定資産+48億円

【流動負債】 +315億円

◆買入債務 +184億円

◆社債を長期から短期に振替
+100億円

流動負債

1,453

(+315)

固定負債 271 (△96)

社債を長期から短期に振替▲100

純資産

3,172

(+190)

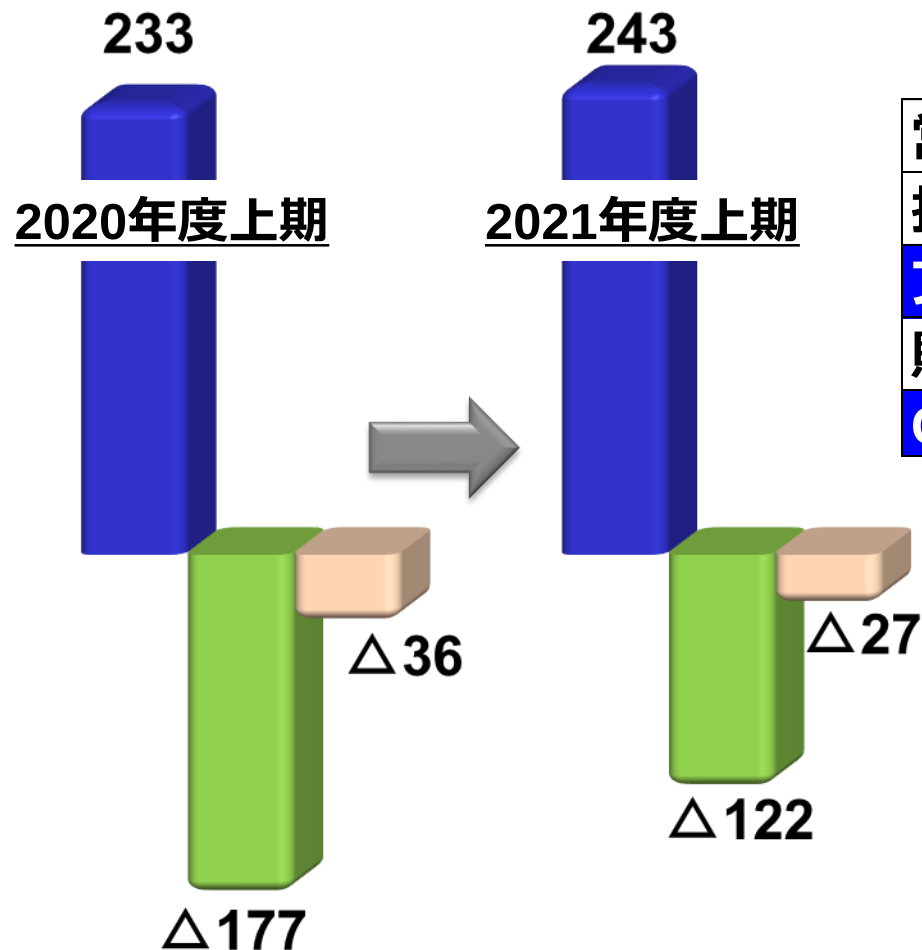
【純資産】 +190億円

◆有利子負債 190億円 (±0)

◆自己資本比率 64.1% (▲1.7)

◆D/Eレシオ 0.06 (±0.00)

(単位：億円)



■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)

	2020年度上期	2021年度上期
営業CF	233	243
投資CF	△ 177	△ 122
フリーCF	56	122
財務CF	△ 36	△ 27
CF	20	94

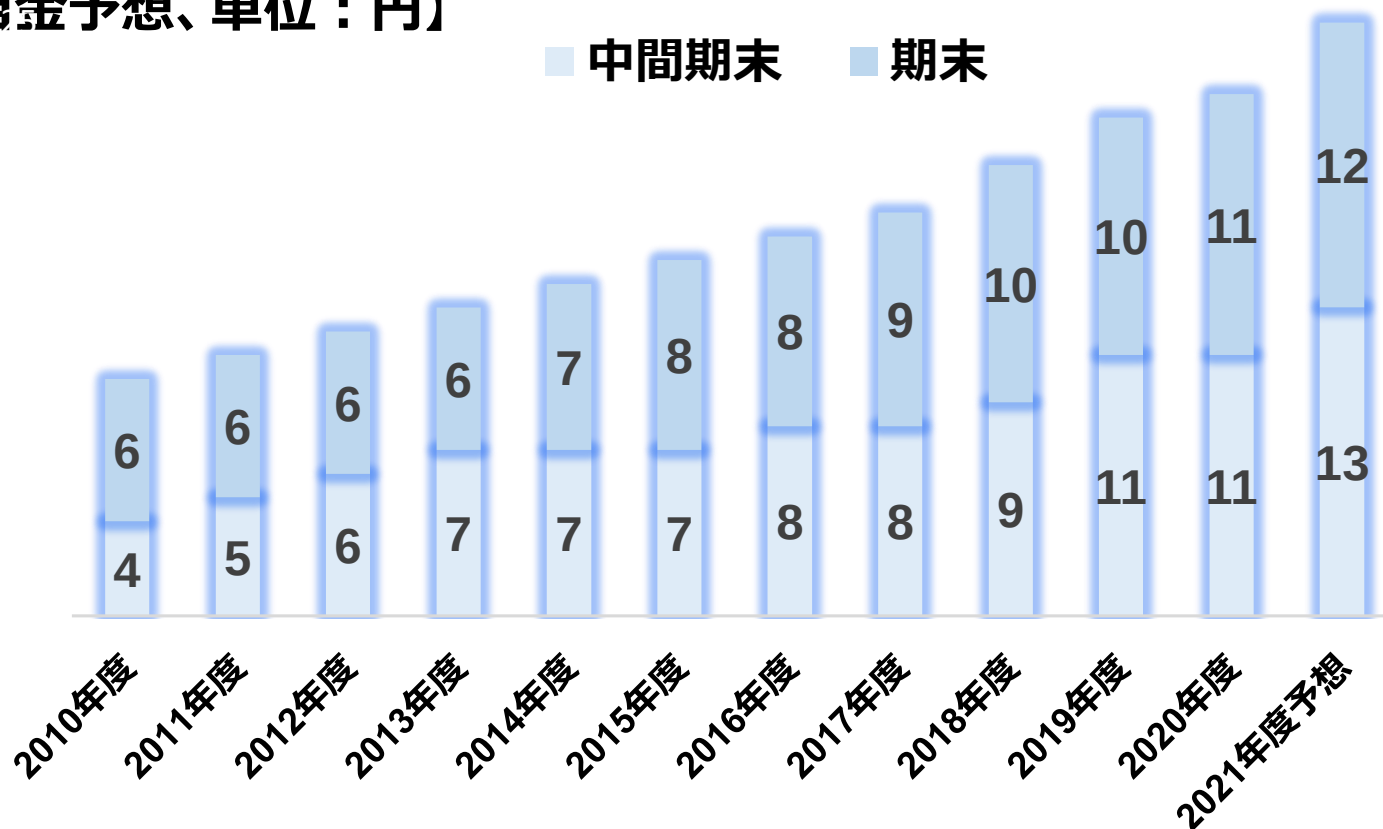
(単位：億円)

【売上高】	2021年度 上期実績	2021年度 下期予想	2021年度 通期予想	上下 増減	上下 増減率
エラストマー素材	989	841	1,830	△148	△15%
高機能材料	541	460	1,000	△82	△15%
その他の事業、消去等	261	239	500	△22	△8%
売上高合計	1,791	1,540	3,330	△251	△14%

【営業利益】	2021年度 上期実績	2021年度 下期予想	2021年度 通期予想	上下 増減	上下 増減率
エラストマー素材	108	56	165	△52	△48%
高機能材料	140	118	258	△22	△16%
その他の事業、消去等	1	△ 4	△ 3	△5	---
営業利益合計	250	170	420	△80	△32%

**2021年度通期業績は売上高3,330億円、営業利益420億円と予想
(下期為替前提 US\$=105円、€=125円)**

【配当金予想、単位：円】



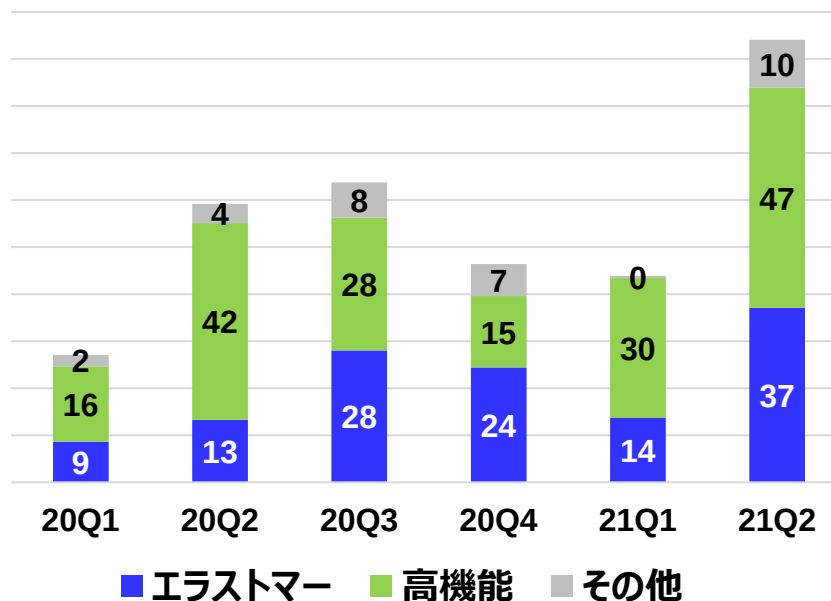
安定的に持続的な
配当政策を継続
（方針に変更なし）

2021年度の配当金予想は、中間期末13円（+1円）、
期末12円の年間25円配当予想に修正（対前年度+3円）

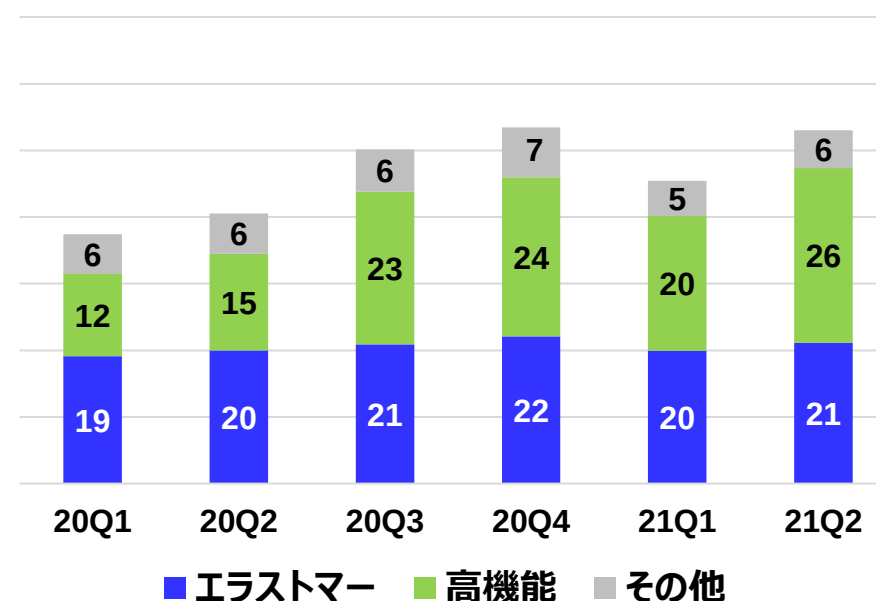
参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

【資本的支出】



【減価償却費】



20年度実績
196億円



21年度予想
220億円

20年度実績
182億円



21年度予想
195億円

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

2021年度 Q3決算発表	2022年1月31日（月）を予定
--------------------------	-------------------------

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

The logo for ZEON, consisting of the word "ZEON" in a bold, blue, sans-serif font.

日本ゼオン株式会社

以 上